

予算概要

一般会計予算 (前年比 1.2%減)
75 億 2,747 万円

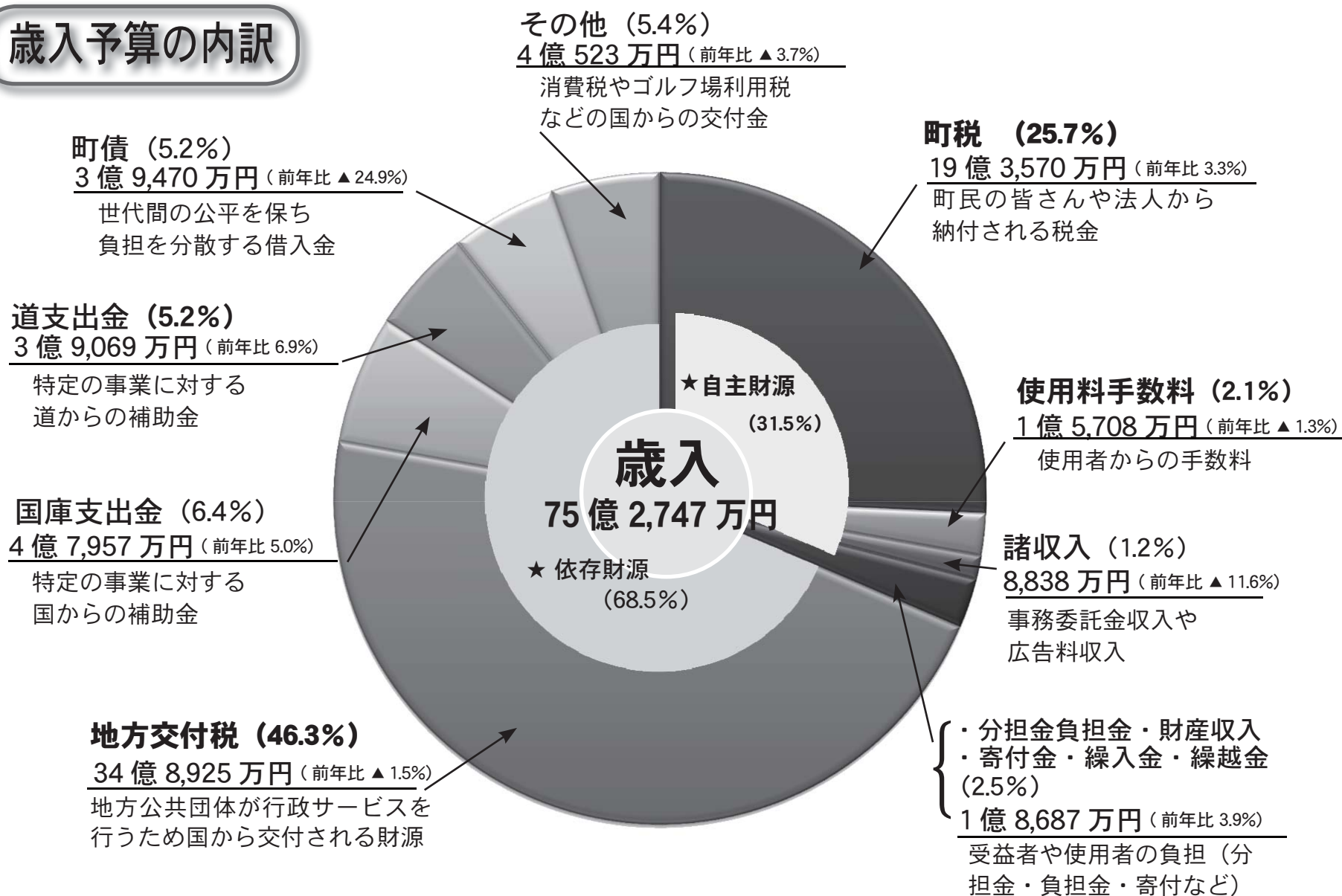
予算編成の考え方

町の将来負担を積み増すことなく行政サービスを継続し、まちの魅力を積極的に発信することを目標に

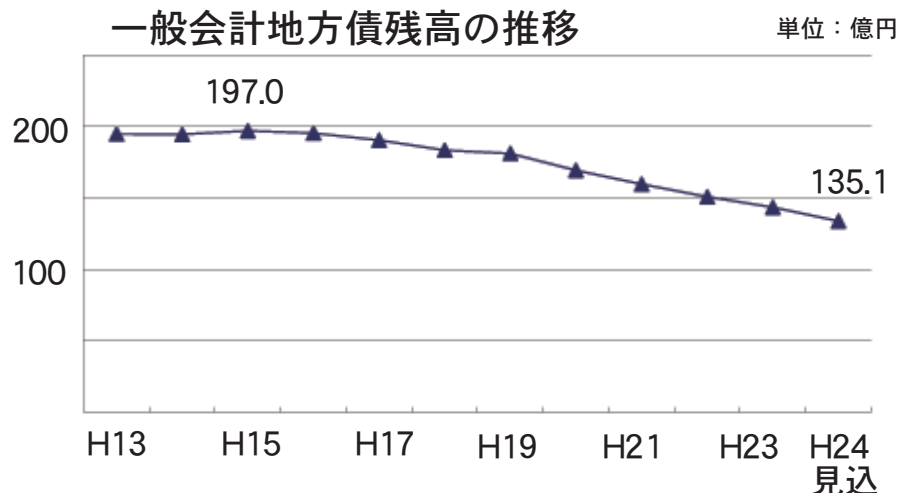
- ① 少子化対策
 - ② インフラ整備と防災・災害への備え
 - ③ まちの魅力発信とブランドの創出
- の3点を中心に予算を編成しました。

歳入において、町税は法人町民税の増額やたばこ税の税源移譲による増額を見込んでいます。また、歳入の半分に近い地方交付税及び国庫支出金、道支出金はほぼ前年並み。町債による借入れは財政運営計画に基づき抑制しています。

歳入予算の内訳



一般会計地方債残高の推移



財政運営計画の中で、地方債残高は 130 億円以下を目標としています。

★用語解説

【自主財源】 町が自主的に収入できる財源のことで、町税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金、繰入金、諸収入などがあります。町独自で収入額を決められるので「自主財源」と呼びます。

【依存財源】 国や道の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする町の収入。地方交付税、地方譲与税、国庫支出金、道支出金、町債など。独自で収入額を決められないので「依存財源」と呼びます。

歳出のうち予算額が大きなものは公債費、民生費、職員費、土木費、教育費、消防費の順となっています。

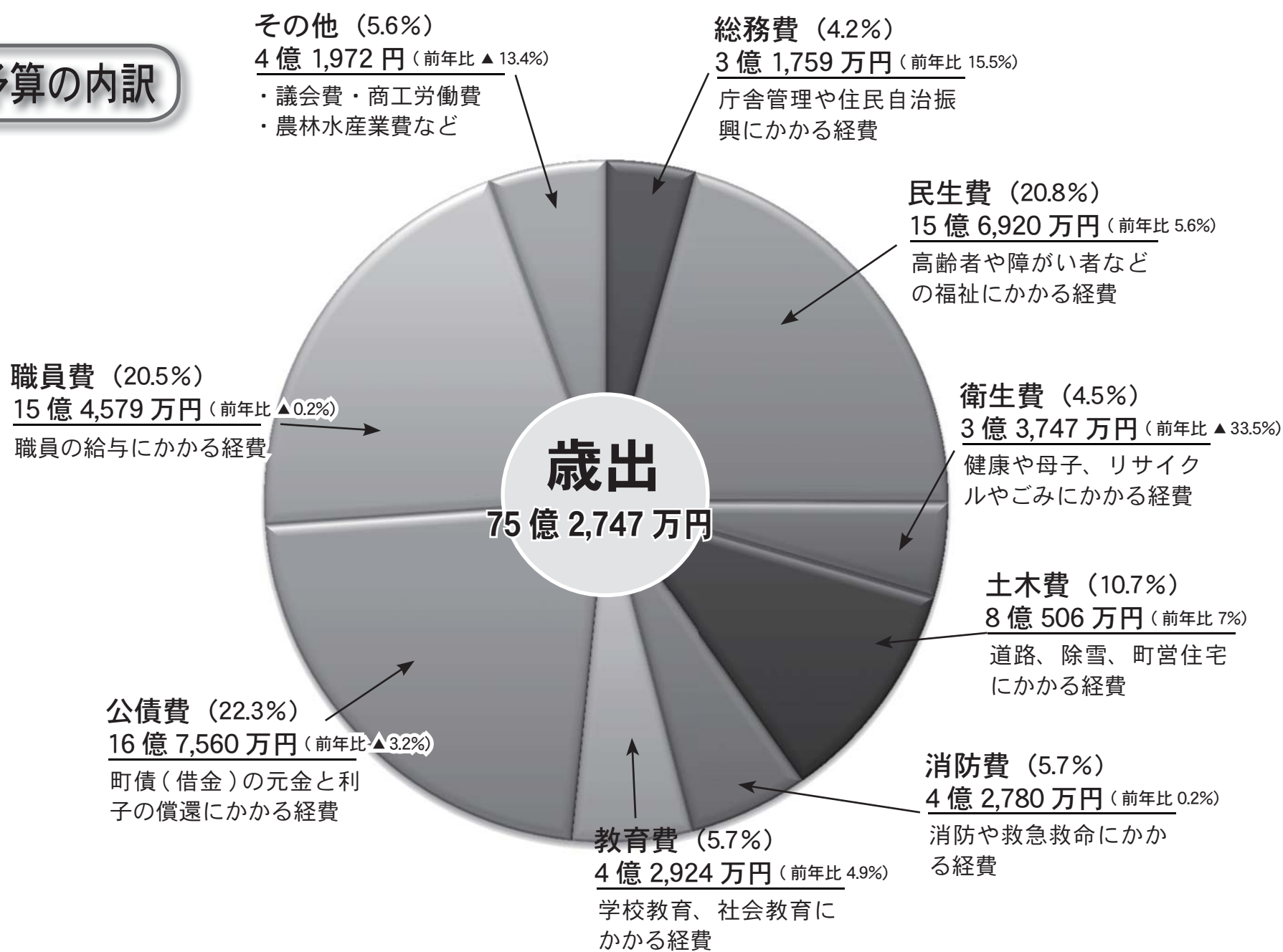
衛生費は昨年、当別ダムの完成に伴い水道事業出資金がなくなることで減額となりました。

増額となった費目については、総務費では町内会館施設の改修、

及びJR石狩太美駅屋根、外壁の塗装による増額のほか、少子化対策に取り組む事業委託が新規事業となりました。土木費では除雪の効率を上げるための除雪機材の新規購入などによる増額となっています。教育費では給食センター改修事業による増額となりました。



歳出予算の内訳



会計区分	H25年度予算額	対前年増減	
一般会計	75億 2,747万円	▲9,429万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	24億 306万円	2,046万円
	介護保険特別会計	11億 6,839万円	3,832万円
	介護サービス事業特別会計	7,134万円	▲19万円
	後期高齢者医療特別会計	1億 8,574万円	772万円
	下水道事業特別会計	9億 9,462万円	4,904万円
	農業集落排水事業特別会計	0万円	▲7,861万円
小計	123億 5,062万円	▲5,755万円	
水道事業会計	10億 4,474万円	7,666万円	
合計	133億 9,536万円	1,911万円	

■一般会計と特別会計の予算

5つの特別会計の合計は48億2,315万円の前年度より3,674万円の増となっています。介護保険特別会計では介護サービスの利用者増による増額となり、農業集落排水事業特別会計は、下水道事業特別会計に一本化されたため、100%の減となりました。一般会計と特別会計、水道事業会計を合わせた全体予算では前年度と同規模となりました。